

2024年12月期 決算説明資料

2025年3月6日

株式会社グローバルインフォメーション

東京証券取引所スタンダード市場 4171



1. 会社概要
2. 2024年12月期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画「GII Vision 2027」

1. 会社概要
2. 2024年12月期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画「GII Vision 2027」

2024年12月31日現在

社名	株式会社グローバルインフォメーション Global Information, Inc.
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. 市場調査レポートの販売 2. 委託調査の受託 3. 年間情報サービスの販売 4. 国際会議・展示会の代理販売
経営理念	最適な市場情報をタイムリーに提供することにより、お客様の意思決定を支援し、各業界の意義ある活性化に貢献し、ひいては社会の発展に寄与する。社員がひとりひとり責任と誇りを持って満足して働く環境を創出する。
設立	1995年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	171,565千円
従業員数	66名（非正規社員、連結子会社含む）
連結子会社	1社（株式会社ギブテック）
株主数	3,681名

2024年12月31日現在

社名	株式会社ギブテック（英語表記：Giv-Tech, Inc.）
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. LPWAネットワーク機器の製造・販売 2. LPWA通信ネットワークの導入・運用支援サービス 3. 展示会・イベント向けソフトウェアの販売
設立	2020年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	83,250千円
主要株主	株式会社グローバルインフォメーション

**お客様にとって真に価値ある世界中の市場情報を精査し、
お届けすることが私たちの使命です。**

世界の先端分野の市場動向や技術動向。その最新情報を40年以上お届けしてきました。

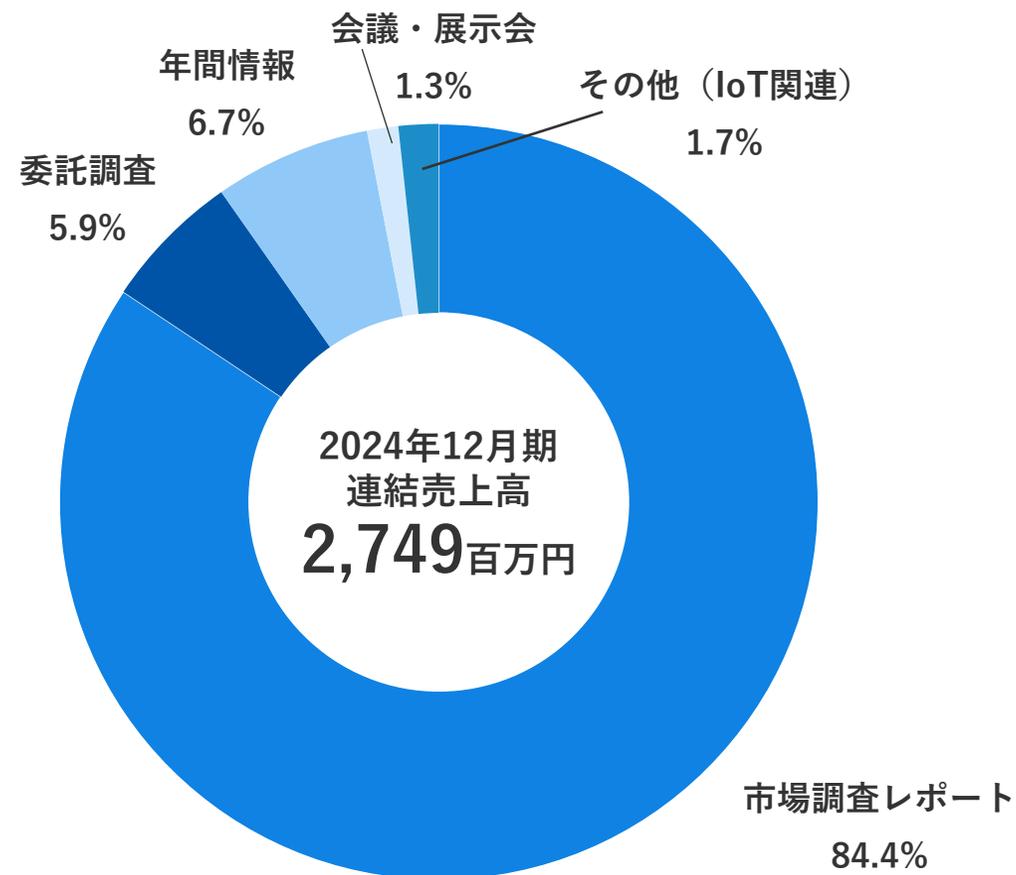
当社は世界5か国に拠点を持ち、200社を超える調査会社と代理店契約を締結する市場情報提供会社です。お客様の情報ニーズに的確にお答えする市場調査レポート、カスタム調査の提案を通じ、総合的な情報サービスを提供しています。お客様の意思決定を支援し、事業展開に寄与できる市場情報をタイムリーに提供し、各業界・産業界の活性化に「情報」というフェイズから貢献します。

市場調査レポート販売を主力とする「市場・技術動向に関する情報提供事業」に加え、連結子会社の株式会社ギブテックにて「その他（IoT関連）事業」を展開

■ 市場・技術動向に関する情報提供事業

- 市場調査レポート
- 委託調査
- 年間情報サービス
- 国際会議・展示会

■ その他（IoT関連）事業



事業系統図

顧客から受注後⇒仕入先に発注となるため、在庫を持たないビジネスモデル



1. 会社概要
2. 2024年12月期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画「GII Vision 2027」

2024年12月期 連結決算 損益計算書サマリー

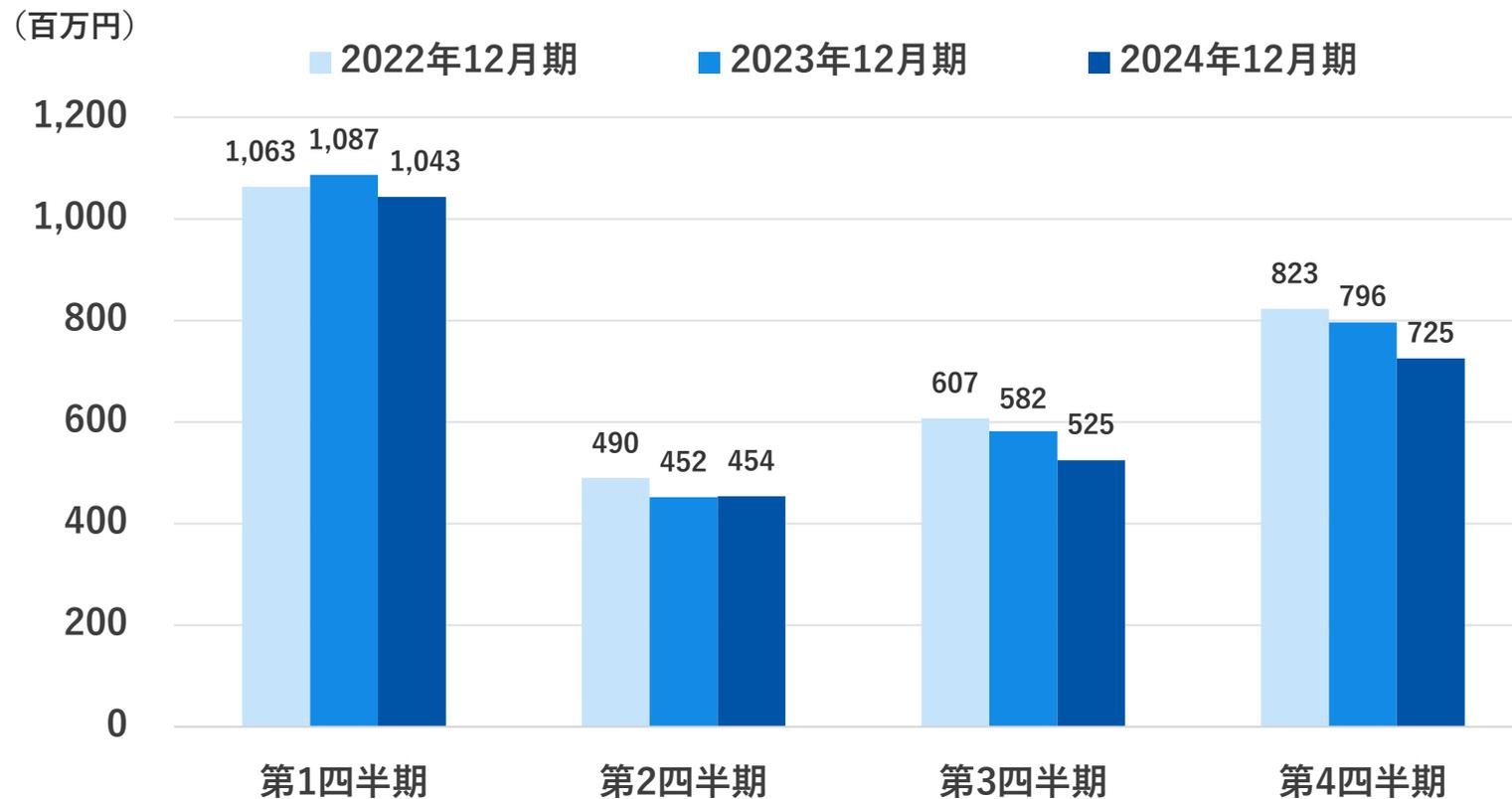
売上高：前期比5.8%減、営業利益：前期比16.8%減で減収・減益

(百万円)	2023年12月期		2024年12月期		前期比 増減	対前期 増減率
		売上高比 (%)		売上高比 (%)		
売上高	2,917	—	2,749	—	▲168	▲5.8%
売上総利益	1,348	46.2	1,304	47.5	▲43	▲3.2%
販売費 及び一般管理費	821	28.2	867	31.5	45	+5.5%
営業利益	526	18.0	437	15.9	▲88	▲16.8%
経常利益	565	19.4	465	16.9	▲100	▲17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	382	13.1	315	11.5	▲67	▲17.7%

四半期ごとの売上高推移

第2四半期は前期比増収も、その他の四半期ではいずれも減収

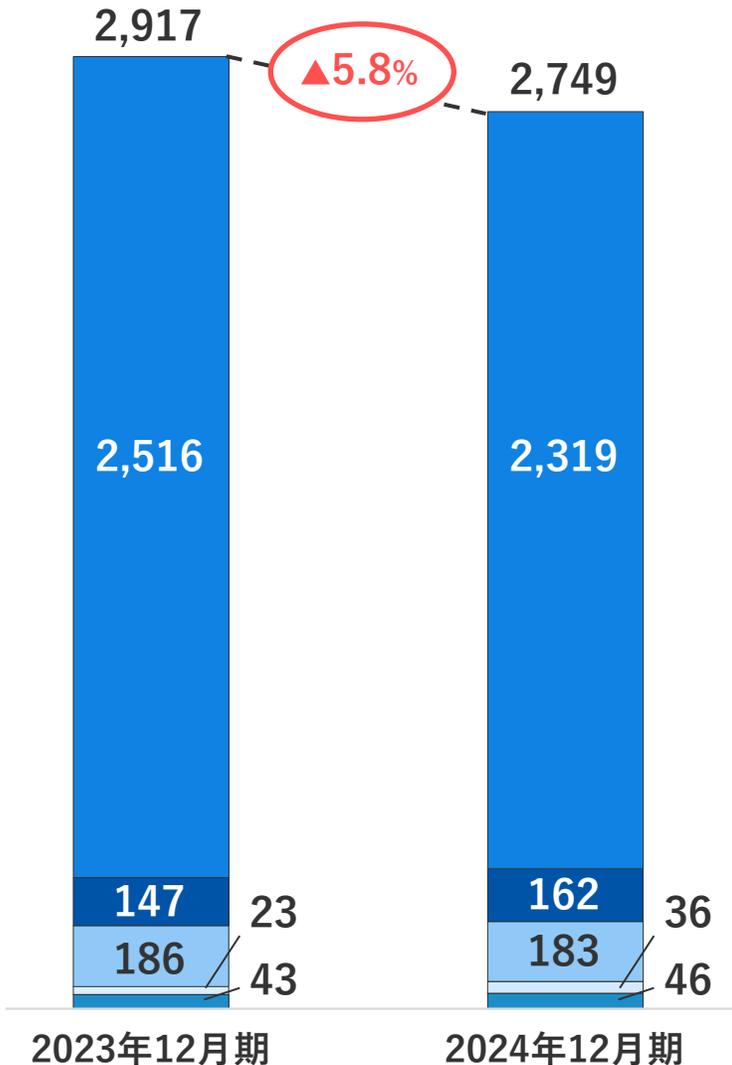
■ 四半期ごとの売上高 (vs 過去2期間)



各事業の状況

■ 事業区分別売上高

(百万円)



市場調査
レポート

国内は上期は好調であったものの、下期以降、売上高が前年同期を下回った。海外においては、韓国国内の景気低迷に伴い、韓国支店の不調が続き、結果として売上高は前年同期を**7.8%**下回った。

委託調査

受注件数の増加に加え、国内・海外共に比較的高額な調査案件の受託が重なり、売上高は前年同期比**10.2%**増加となった。

年間情報
サービス

国内は受注件数が昨年を下回り苦戦するも、台湾等、海外支店での売上高は増加し、売上高は前年同期比ほぼ横ばい (**▲1.8%**) となった。

国際会議
・展示会

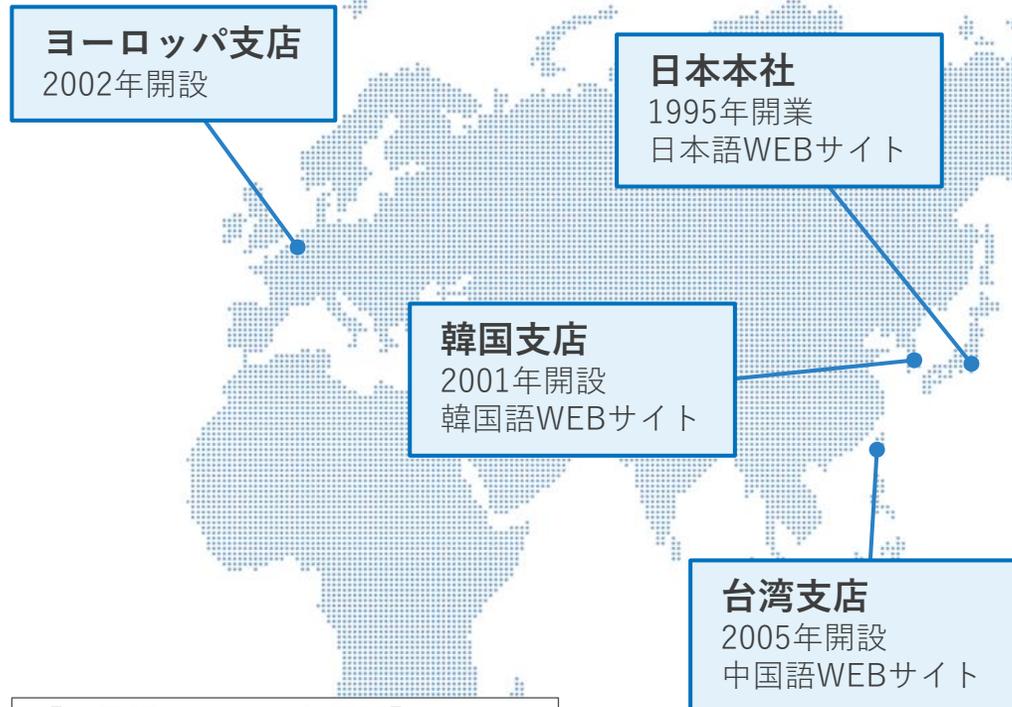
国内開催の国際会議を中心に参加者が増え、前年同期比**54.9%**の増収。

その他
(IoT関連)

スマートシティ案件等へのIoT機器の納入に加え、展示会DXツール「AiMeet」の複数展示会への導入により前年同期比増収。

拠点別売上高構成

日本国内の売上比率約75% 台湾+3.3%、日本▲4.8%、韓国▲20.1%



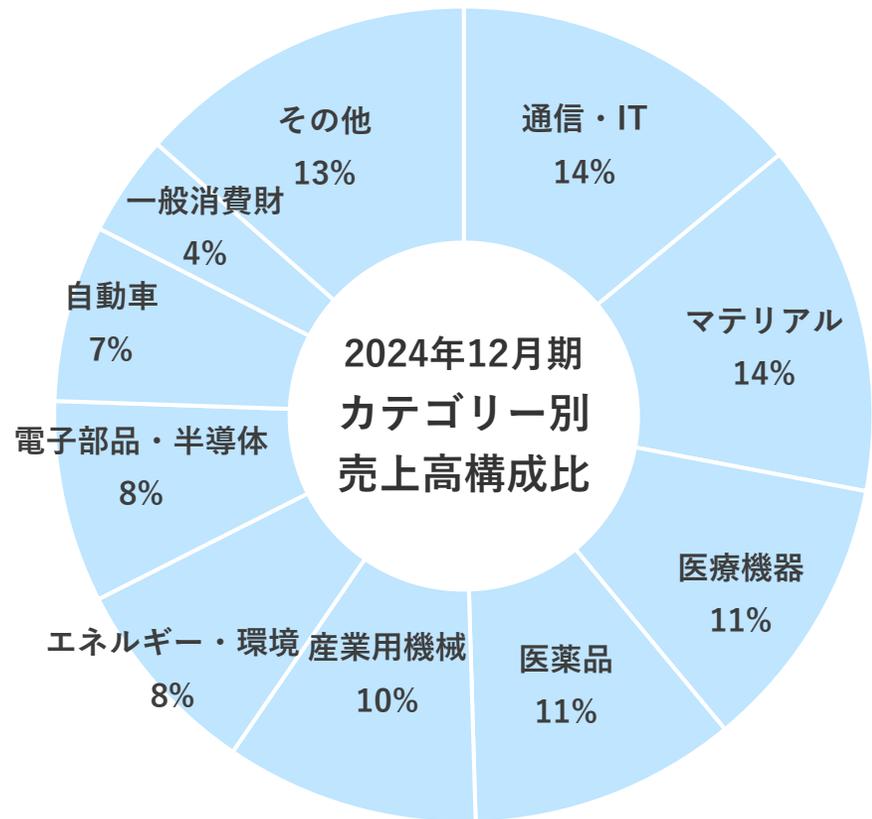
米国支店
2000年開設

- 【多言語WEBサイト展開】
- 日本語 - gii.co.jp
 - 英語 - giiresearch.com
 - 韓国語 - giikorea.co.kr
 - 中国語（繁） - gii.tw
 - 中国語（簡） - cn.gii.tw

カテゴリー別売上高構成

「通信・IT」 「マテリアル」 「医療機器」 分野が好調

カテゴリー別売上高構成比及び調査トピック例

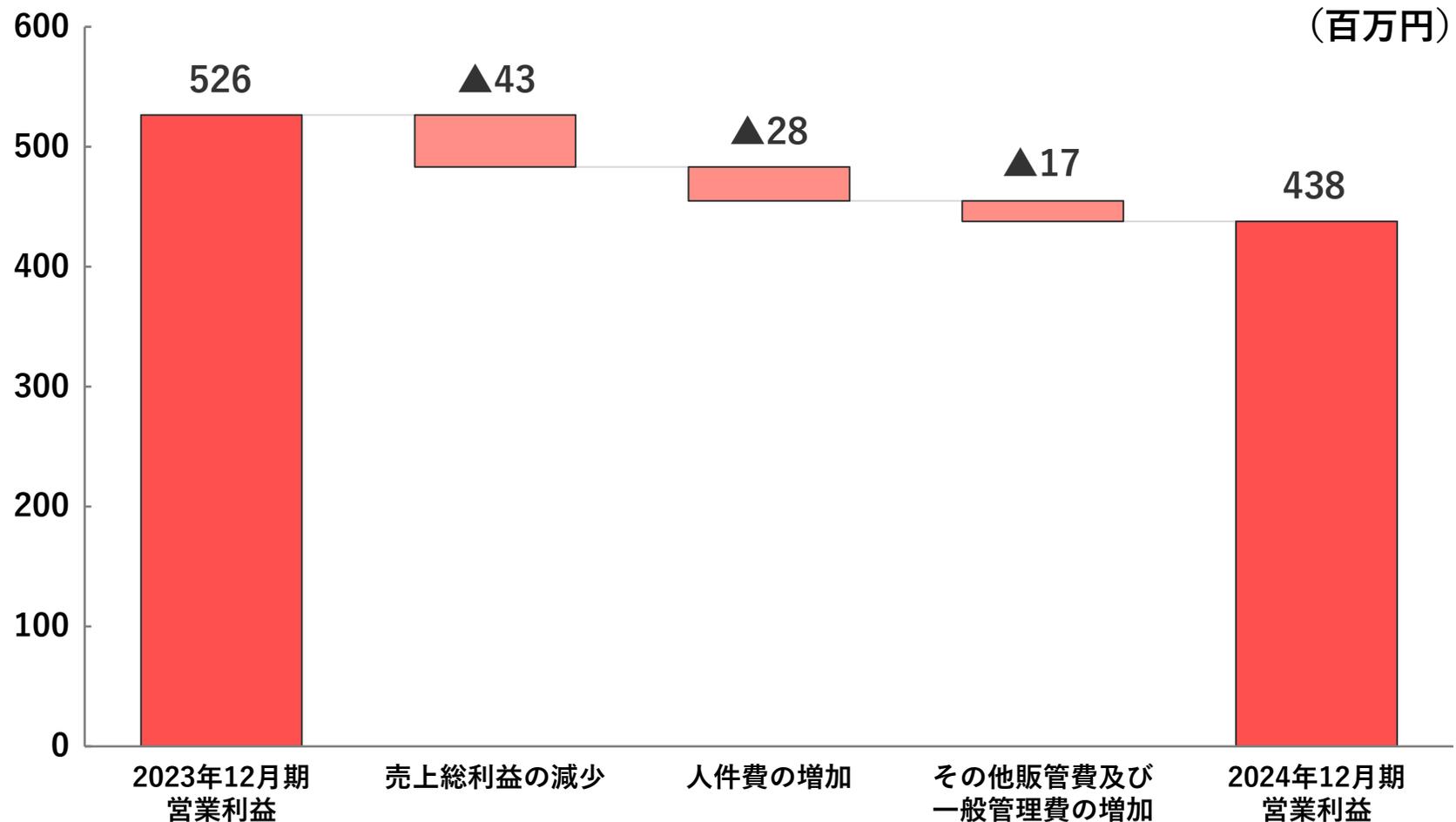


カテゴリー	調査トピック（一例）
通信・IT	生成AI、サイバーセキュリティ、クラウドサービス、IoT
マテリアル	テキスタイル印刷、ナノセルロース、メタマテリアル、炭素材料
医療機器	デジタルパソロジー、IVD、ドラッグデリバリー、画像診断
医薬品	バイオ医薬品、遺伝子療法、がん治療薬、分子標的療法
産業用機械	FA、建設用ロボット、農業機械、空調システム、BEMS
エネルギー・環境	電池リサイクル、バイオマスガス化、カーボンクレジット
電子部品・半導体	半導体製造装置、窒化ガリウム、フォトレジスト、炭化ケイ素
自動車	自動運転、V2X、急速充電システム、ワイヤレスEV充電、ADAS
一般消費財	アイウェア、ヘアケア家電、家庭用ロボット、アウトドア用品
航空・宇宙	衛星製造、軍用ドローン、エアモビリティ、eVTOL、低軌道衛星
食料・飲料	培養肉、アーモンドミルク、ビーガン冷凍食品、認知機能サプリ
インフラ	海水淡水化、上下水道処理薬品、PFAS処理、橋梁点検、変圧器
金融・保険	ウェルスマネジメント、BNPL、BaaS、バーチャルカード

営業利益の増減要因

韓国支店の不調等の要因により売上総利益が減少、更に今期は将来に向けた採用のための人件費はじめとした販管費を増やしており、営業利益は前年同期比88百万円減少

■ 営業利益の増減（前年同期比）



2024年12月期 連結決算 貸借対照表

自己資本比率は78.0%となり、引き続き財務状況は健全

(百万円)	2023年12月期末	2024年12月期末	前期末比 増減
資産合計	2,923	3,164	241
流動資産 (うち 現金及び預金)	2,840 (2,400)	3,067 (2,669)	226 (269)
固定資産	83	97	14
負債合計	633	695	61
流動負債	343	390	46
固定負債	289	305	15
純資産合計	2,290	2,469	179
自己資本比率	78.3%	78.0%	—

1. 会社概要
2. 2024年12月期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画「GII Vision 2027」

2025年12月期 通期業績見通し

前年対比売上高+10.0%、営業利益+9.4%、年間配当金額は60.00円を予定

(百万円)	2024年12月期		2025年12月期 (予)		前期比 増減	対前期 増減率
		利益率 (%)		利益率 (%)		
売上高	2,749	—	3,025	—	276	+10.0%
営業利益	437	15.9	479	15.8	42	+9.4%
経常利益	465	16.9	480	15.9	15	+3.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	315	11.5	330	10.9	15	+4.8%
一株当たり配当金 (円)	60.00	—	60.00	—	—	—

セグメント・事業区分		要因	売上高 前期比見通し
市場・技術動向に関する情報提供事業	市場調査レポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ウェブサイト掲載商品ラインナップの拡大による集客強化 ✓ 仕入先調査会社との連携強化（サイト由来リードの共有） ✓ 多様なニーズに対応できる仕入先調査会社の開拓 	<p style="text-align: center;">+9.2% (+249百万円)</p>
	委託調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 専任担当者設置により手厚い顧客サポートを実現 ✓ レポートのカスタマイゼーション対応から単価の高い委託調査案件へのアップセルを狙う 	
	年間情報サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AIを活用した市場情報プラットフォーム商品の取扱い拡大 	
	国際会議・展示会事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プロモーション拡大により自社ウェブサイトへの集客強化 ✓ 参加者数が戻りつつある国内開催会議への注力 ✓ 提携イベント会社及び取り扱い商品を拡大 	
その他（IoT関連）事業		<p>【IoTデバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方自治体によるスマートシティ案件の受注増加 ✓ 大口顧客であるTOPPAN株式会社への製品納入継続 <p>【展示会DXツール「AiMeet」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 導入済み顧客の他展示会への展開 ✓ 展示会主催者への個別アプローチを通じた新規顧客の獲得 	<p style="text-align: center;">+58.3% (+27百万円)</p>

中長期的な持続的成長及び経営環境の変化に耐えうる経営基盤充実のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする
配当はDOE 6%以上、配当性向40%以上を維持、当期導入した株主優待制度も継続

■ 配当金

	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)
一株あたり配当金 (円)	60.00	60.00
配当性向	56%	55%

■ 株主優待

保有株式数	優待内容
200株以上	QUOカード 2,000円分

1. 会社概要
2. 2024年12月期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画「GII Vision 2027」

自社 Company

- 全世界200社の調査会社とのネットワーク
- 多様な製品に対応できる営業体制
- 市場調査レポート販売が売上高の約85%
- 高い自己資本比率・潤沢な手元資金

顧客・市場 Customer

- 地政学的要因による市場の不確実性の高まり
- 調査トピックが多様化・ニッチ化
- 円安による海外進出・輸出ビジネスの好機

競合 Competitor

- 海外調査会社の日本国内進出
- 国内外競合との検索エンジン上での競争激化
- 生成AIによる市場調査業務の代替

GII Vision 2027 テーマ

『総合市場情報プロバイダーへの進化』

当社の経営理念である「最適な市場情報をタイムリーに提供し、社会の発展に貢献する」という使命に基づき、多様化する顧客の情報ニーズに全方位的に対応できる総合市場情報プロバイダーへと進化することを目指す。

当社の主要事業である市場調査レポートの販売事業を更に強化すると共に、ニッチ化・多様化する顧客の情報ニーズに応えるべく、委託調査事業、AIを利用した市場情報プラットフォームの販売を推し進め、事業モデルの転換を図る。

『総合市場情報プロバイダーへの進化』を目指し、下記の重点施策に取り組む

委託調査事業への注力

AI × 市場調査商品の拡販

集客・顧客開拓力強化

AIによる社内データの活用促進

新規事業への投資

次世代を担う人材獲得・育成

子会社の利益貢献

委託調査事業への注力

ニッチ化・多様化する顧客の情報ニーズに対応できる体制を構築し、高単価な委託調査案件の獲得に注力する。

- 委託調査専任担当者による柔軟かつ迅速で手厚いサポートを提供
- 仕入先調査会社の棚卸しと新たな仕入先開拓による対応範囲の拡大
- 技術調査などの高難度調査案件への対応強化
- 営業対応力の底上げによる市場調査レポート案件からのアップセル機会の増加

AI×市場調査商品の拡販

市場調査業界に浸透しつつある生成AI技術を活用した商品の取り扱いを拡げ、収益基盤の強化と新たな事業モデルへの転換を図る。

- AIを活用した新たな市場情報プラットフォーム・ソフトウェア商品の取扱い拡大
- AI関連商品専任担当チームによる拡販
- AIソフトウェア（Rover）のカスタム開発案件の開拓

集客・顧客開拓力強化

主要な集客エンジンであるウェブサイトと蓄積された顧客データベースを有効に活用し、効率的かつ実効的に顧客を獲得する。

- 商品情報ページの作成速度向上により検索エンジン経由での集客力を強化
- 顧客流入の入口となるウェブサイトデザイン的大幅リニューアル
- 顧客データベースを活用したプロアクティブなプロモーション展開
- 仕入先との共催セミナー・ウェビナーによるGIIブランド強化
- ウェブ集客を目的とした広告出稿の拡大

AIによる社内データの活用促進

生成AI技術を活用し、業務の効率化と顧客対応の高度化を図る。

- ウェブサイト未掲載商品を含む商品情報をAIで検索可能にするシステムの開発
- 商品選定を支援する営業アシスタントAIの開発
- AI活用による効率的な商品情報ページの作成

新規事業への投資

内部留保を有効活用するための投資について具体的な検討を進める。

- 既存事業の周辺領域（市場調査、マーケティングリサーチ）の企業の買収検討
- その他、新たな事業領域への進出

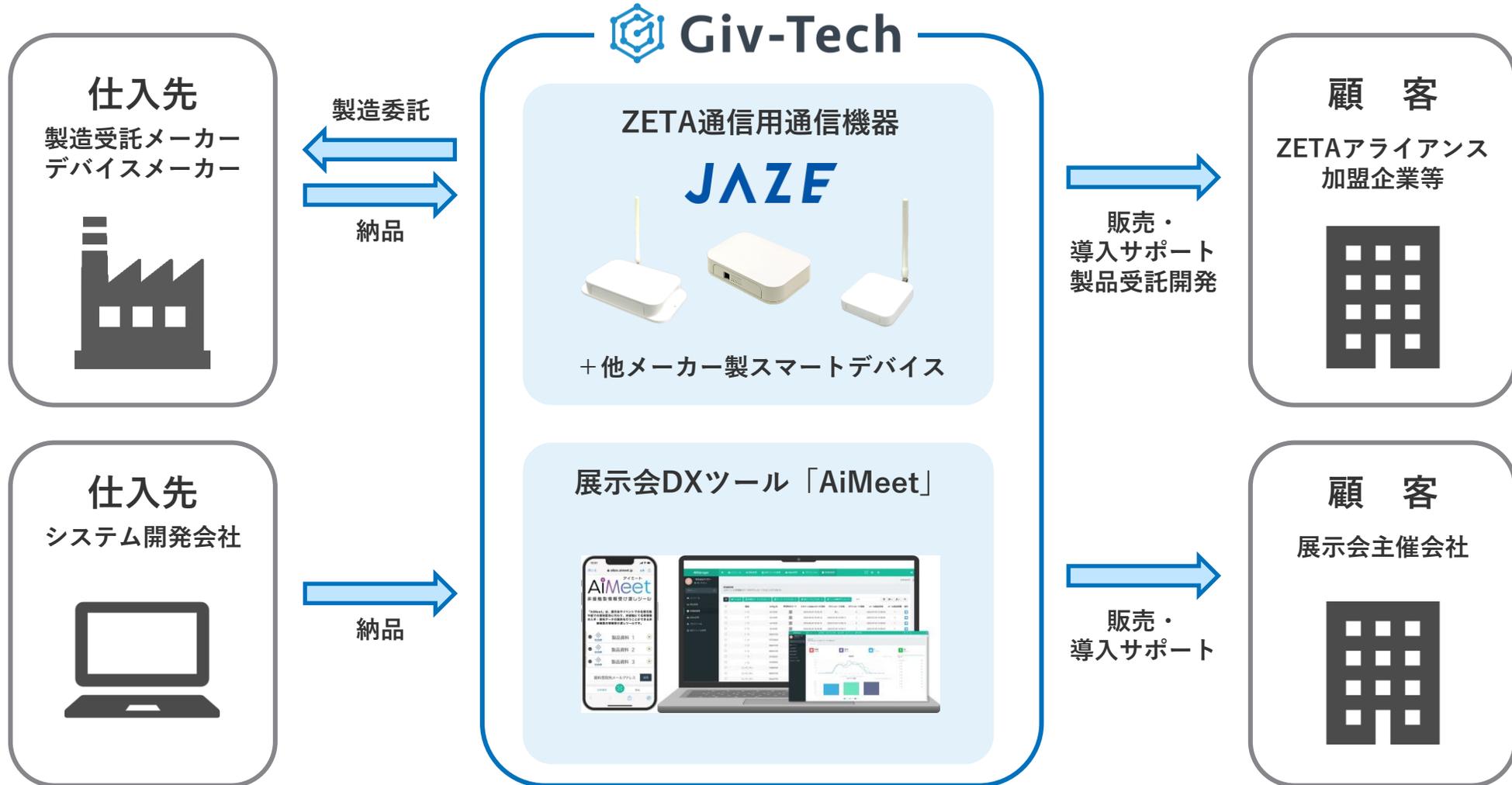
次世代を担う人材獲得・育成

次の10年を担う新たな人材の確保と育成を目的に、採用および教育制度の改善を進める。

- 第二新卒、若手社員の積極採用
- 人材育成制度の改善、教育・研修の拡充
- 働きやすい職場環境の整備、福利厚生の実施

重点施策概要 - 株式会社ギブテック -

ZETA通信用自社ブランド「JAZE」製品の製造・販売と他社製ZETA通信デバイスの販売、
展示会DXツール「AiMeet」の販売の2つを主な事業とする



LPWA通信機器の販売

IoTネットワーク内で利用される低消費電力広域無線通信 (LPWA) の通信機器を販売

■ ZETA通信 (LPWA) の活用例

✓ スマートビルディング

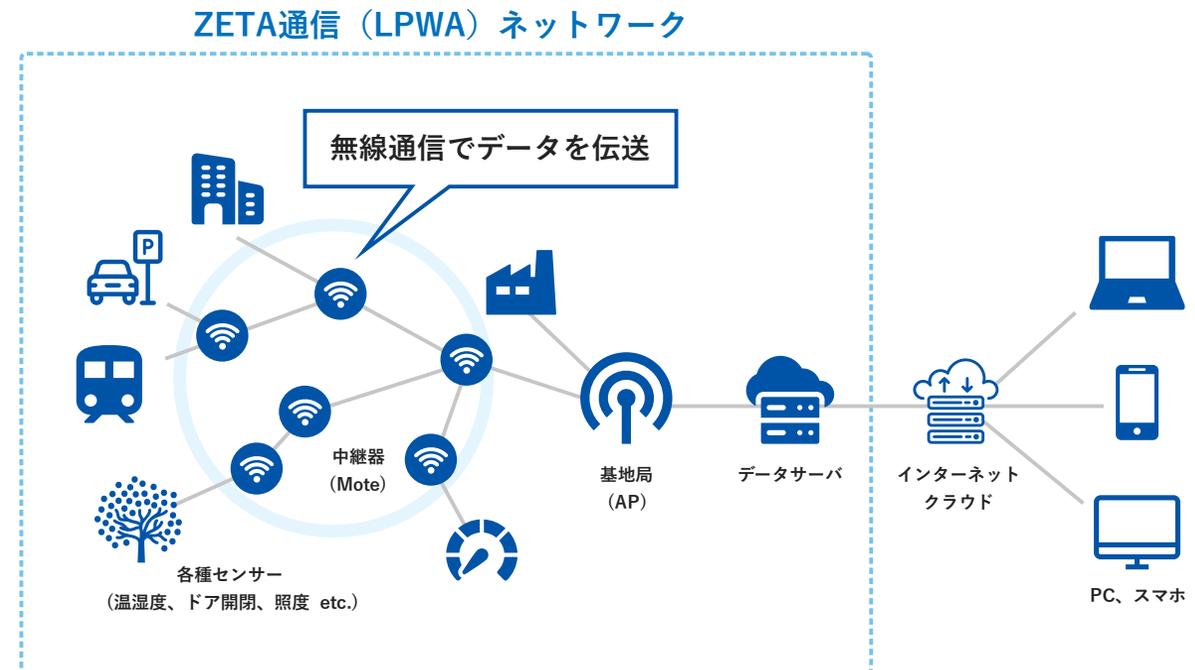
温度・湿度、漏水検知、ドア開閉センサー等からのデータをZETA通信で受信し、遠隔制御が可能。ビル管理、警備に掛かる**コスト削減**。

✓ スマートファクトリー

工場内の各種計装類からのデータをZETA通信でリアルタイム受信。人員削減による**コスト削減**やリアルタイム管理による**生産効率改善**。

✓ スマート防災

河川の水位等を遠隔地からリアルタイムに監視可能。自然災害の兆候をいち早く察知することで、**被害を未然防止**。



展示会DXツール「AiMeet」の販売

展示会、講演会におけるペーパーレス化によるコストダウン、DXによる業務効率化を同時に実現し、環境に配慮した展示会やイベントの開催を後押し



- 来場者向けウェブページ **AiVisitor** にアクセス
- ☑ 非接触で資料を入手
 - ☑ ペーパーレスなのでエコで手軽
 - ☑ 資料の確認・保管・共有が簡単
 - ☑ 他言語対応! 国際展示会でも安心

- 出展者向けウェブページ **AiManager** にアクセス
- ☑ スキャンでリード獲得・リアルタイム共有
 - ☑ 情報共有ですぐにアプローチ可能
 - ☑ 来場者情報などの数値を可視化
 - ☑ 経費削減・エコで社会貢献

資料を取った来場者の名刺情報が全て取得可能に

名刺を買わずに、資料を取っていった来場者の名刺情報が、主催者を通して入手できます。

印刷費・輸送費のカット

紙媒体の印刷費用や輸送費用を削減できます。

紙媒体の準備・片付けも楽チン

大量のチラシの部数確認や梱包、会期中の増刷手配や会期後の返送処理などの手間が一切不要になります。

出展者のメリット

来場者のメリット

非接触で資料を入手

QRコードをタッチするだけで資料データを取得できます。

すぐに情報を転送&共有

荷物にならず手軽

重くてかさばる紙のパンフレットはなくなり、チラシをPDF化する手間もなくなります。

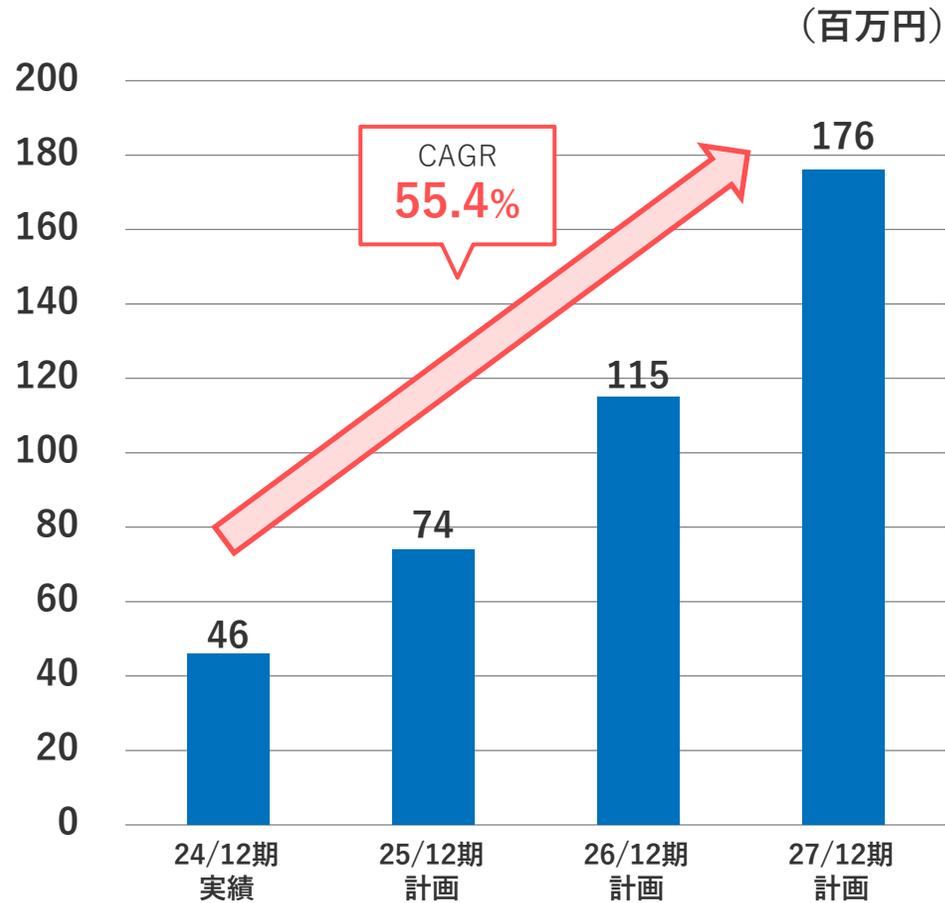
入手した資料データはスマートフォンからメールで転送が可能。同僚や上司への連絡にも。

株式会社ギブテック単体 経営数値目標

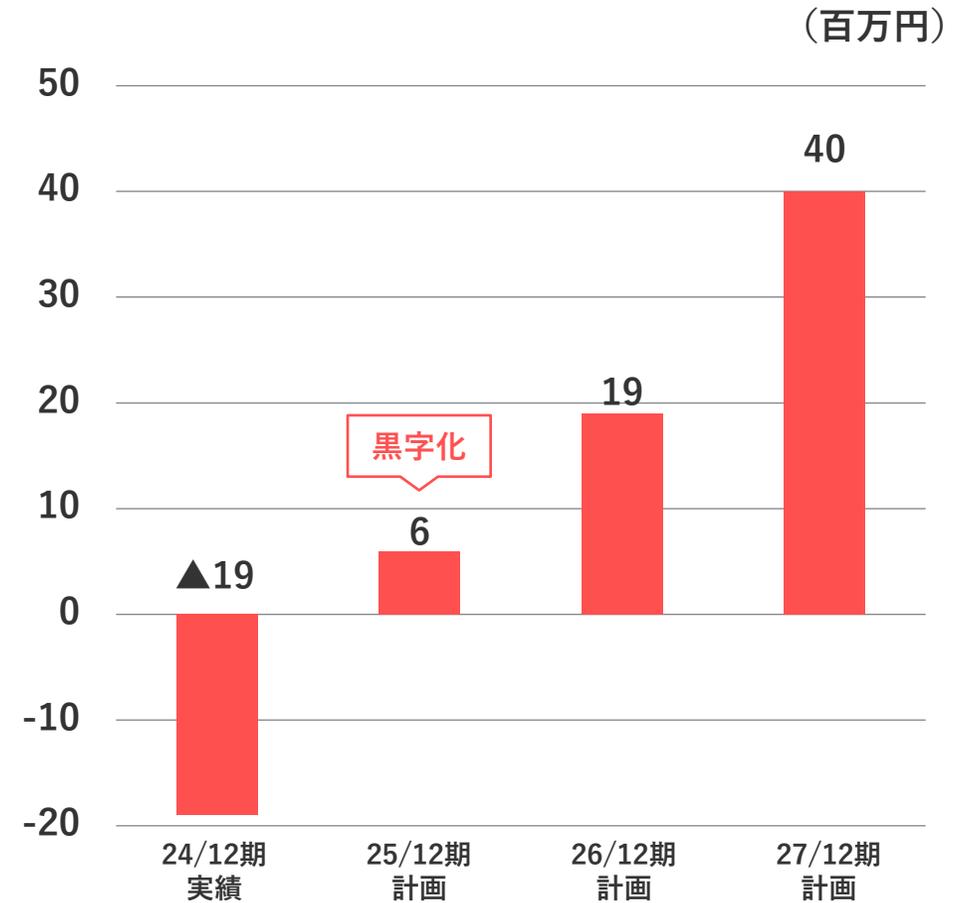
大口顧客を中心にIoTデバイスの拡販、展示会DXツールの導入拡大により今期黒字化予測

2027年12月期目標 売上高：176百万円、営業利益：40百万円

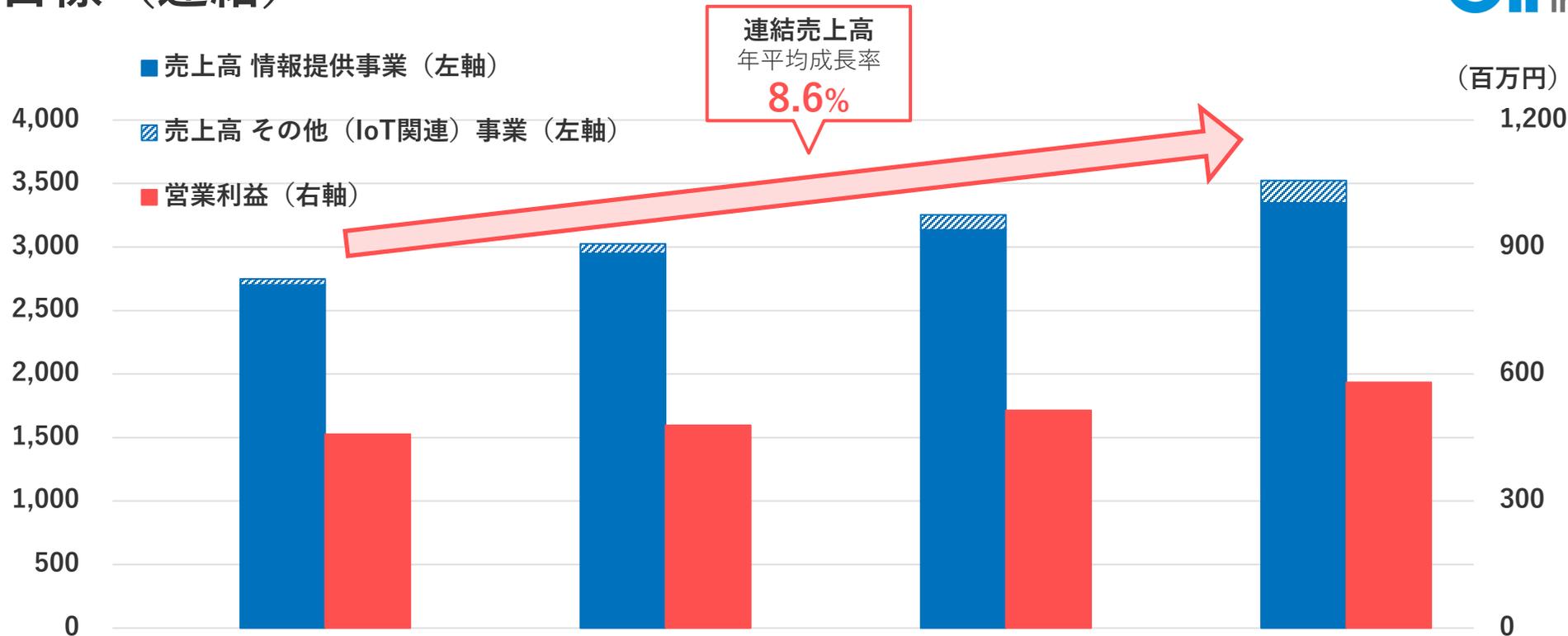
■ 売上高



■ 営業利益



経営数値目標（連結）



(百万円)	2024年12月期 実績	2025年12月期 計画	2026年12月期 計画	2027年12月期 計画
売上高	2,749	3,025	3,253	3,524
営業利益	437	479	514	580
営業利益率	15.9%	15.8%	15.8%	16.4%
一株あたり配当金（円）	60.00	60.00	60.00	60.00
配当性向	56%	55%	50%	43%

■ 本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料発表当日現在で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

お問合せ先

株式会社グローバルインフォメーション 管理部 IR担当

E-mail: cpd@corporate.gii.co.jp

IRサイト: <https://corporate.gii.co.jp>